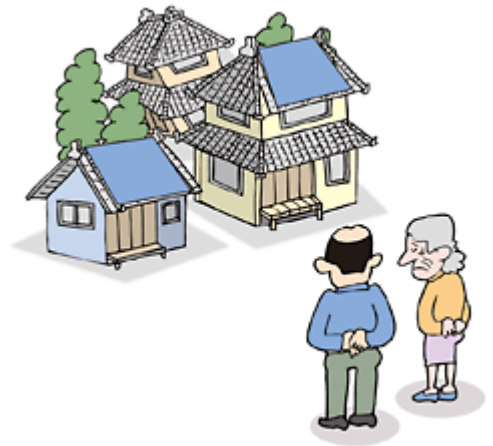


建てかえるより倒れない家にする

余震のたびに危険度が増していった、このあたりで有名な築100何十年の旧家もつぶすことになりました。古いハリなどは一つひとつバラし、うるしを塗った黒塗りの柱なども再利用するそうです。けど、残念でもったいないなと思います。



家を建てかえるとしても半年以上かかるし、莫大な費用とその間の不自由な思いを考えれば、事前に平時から家が倒れないように補強した方がいいんじゃないかなとつくづく思いました。

家がゆがんで、サッシ戸飛び出す

朝の7時15分ぐらいに、2度目の地震が来たんです。イスに腰掛けていたら、からだはボン、ボン、ボンとはずみました。上にはずんだ感じでした。

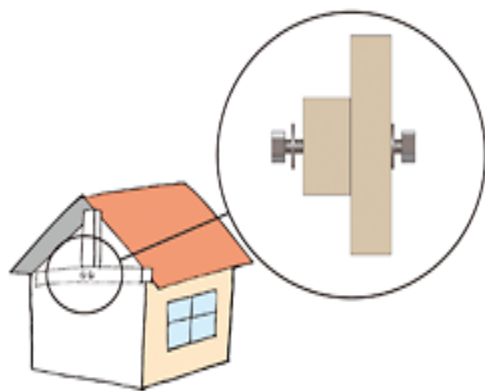


みると、うちの雨戸がわりのガラス戸が、10cmか15cmぐらいバッフ、バッフとあいたかと思うと、あらら、あらら、といううちに、バシャ、バシャ、バシャという音がして、ガラス戸がはずれて外側に倒れました。

それらの戸は、木の枠ではなく、サッシの枠でした。家がゆがんでサッシの戸が外に飛び出すなんて、信じてもらえないかもしれませんが、ほんとうのことなんです。

油断大敵！ ～屋根うらのボルトのゆるみも確認を～

地震の後、ある住宅メーカーが無料診断をしてくれるというので、建築士の人に屋根裏に入って見てもらったんです。うちの家は平成3年につくったものですが、撮ってくれた写真を見ると、ボルトなどの金具がみんな緩んでいたんです。



木造だと、乾燥して木がだんだんやせてきて、やせてもボルトはそのままだから、何もなくても若干は緩むということは知っていましたが、うちの場合は、地震の影響でナットなんかはかなり緩んでいたのので、耐震補強をしてもらいました。

普通の人には、普段屋根裏までは見ませんからね。「この前、あのくらいの地震がきてもつぶれなかったから、今度も大丈夫」なんて思っていると危ないということなんですよ。

もう今すでに緩んでいるとしたら、今度同じような地震がくれば、つぶれるくらいになるわけですから、点検や補強をしておくというのは、ほんとうに大事だと思います。起きてしまってからでは取り返しがつきませんからね。